

**副専攻名 考古学****副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

考古学の概念、考え方などの基礎的な事柄を知り、日本を含む世界の考古学の基礎知識を学ぶ。

**副専攻の学習成果**

歴史、社会、文化を考えるために、一つ一つの資料の積み重ねから過去を復元する考古学の考え方を身に着ける。

**副専攻を構成する科目**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
11028	比較考古学A	考古学的な比較法を学ぶ。それにより社会を考察する方法を学ぶ。	2～4		
41801	比較考古学B	考古学的な比較法を学ぶ。それにより社会を考察する方法を学ぶ。	2～4		
11027	地域考古学A	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4		
41802	地域考古学B	考古学的な分析法を学ぶ。それにより地域社会を復元する方法を学ぶ。	2～4		
41803	アジア考古学A	東アジア地域の考古学を学び、その諸問題について理解する。	2～4		
41804	アジア考古学B	西アジア地域の考古学を学び、その諸問題について理解する。	2～4		
41805	日本考古学A	日本考古学を学び、その諸問題について理解する。	1～4		
41806	日本考古学B	日本考古学を学び、その諸問題について理解する。	1～4		
41807	比較文化考古学A	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	1～4		
41808	比較文化考古学B	考古学の方法により、文化を比較する方法を学ぶ。	1～4		
41809	比較考古学演習A	考古学的な比較により、社会を考察する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41810	比較考古学演習B	考古学的な比較により、社会を考察する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41811	地域考古学演習A	考古学的分析法を通して、地域社会を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41812	地域考古学演習B	考古学的分析法を通して、地域社会を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41813	比較文化考古学演習A	考古学的な比較により、文化を考察する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41814	比較文化考古学演習B	考古学的な比較により、文化を考察する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41815	地域文化考古学演習A	考古学的分析法により、地域文化を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41816	地域文化考古学演習B	考古学的分析法により、地域文化を復元する方法を学び、それを実地に応用できるようになる。	2～4		
41817	アジア考古学演習A	考古学的分析法を通して、東アジア地域の歴史を考察できるようになる。	2～4		
41818	アジア考古学演習B	考古学的分析法を通して、西アジア地域の歴史を考察できるようになる。	2～4		
41819	実測実習A	考古学にとって最も基本的な作業であるモノの資料化に係わる基礎的技術を修得する。	2～4		
41820	実測実習B	考古学にとって最も基本的な作業であるモノの資料化に係わる基礎的技術を修得する。	2～4		
41821	野外考古学実習A	モノの資料化に係わる技術を修得し、発掘から報告書作成に至る作業の流れを理解する。	2～4		
41822	野外考古学実習B	モノの資料化に係わる技術を修得し、発掘から報告書作成に至る作業の流れを理解する。	2～4		